

事務事業名	道路台帳の整備事業		所属部	建設部	所属課	業務管理課
政策名	総合計画体系	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	維持管理G	課長名	日野 誠
施策名		(07)道路網の整備	担当者名	陶山 透	電話番号(内線)	0854-40-1061 3733
基本事業名	(020)道路情報提供の充実	予算科目	会計	款	項	目
			01	40	10	0502

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	新規整備・改良路線、県等からの移管路線等の道路台帳整備 ①新規、変更、移管路線等、道路台帳整備を要する道路の把握。 ②道路台帳整備業務委託事業の発注。 ③納入、検査実施、委託料の支払い。	道路法第28条及び地方交付税法第12条による道路台帳整備の実施。

(2)トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要) 道路台帳整備業務委託費	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	5,340	5,055	3,796	4,657	5,020	
	事業費計(A)	千円	5,340	5,055	3,796	4,657	5,020	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等) 台帳整備路線調査 現地確認 道路台帳整備業務委託	人件費	人	3	3	3	3	3	
	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	350	350	350	350	350	
	人件費計(B)	千円	1,335	1,361	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,675	6,416	3,796	4,657	5,020	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤活動指標							
	道路台帳整備業務委託	ア 台帳整備実施路線件数	件	38	38	34	50	50	50
		イ 台帳整備実施路線延長	m	8,482	6,783	6,469	9,000	9,000	9,000
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	ウ							
	道路台帳整備業務委託	エ							
		オ							

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	生活道路の利用者	⑥対象指標							
		ア 人口【国勢調査(推計)】	人	42,428	41,927	41,899	41,454	40,999	40,534
	③意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦成果指標							
	市民を安全で迅速に移動できるようにする	ア 生活道路が安全で便利な道路だと感じている市民の割合	%	58.9	57.1	55.7	59.5	59.7	60
		イ 危ない場所があると感じている市民の割合	%	74.1	70.4	70.8	73.5	73.3	73
	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標							
	市民を安全で迅速に移動できるようにする	ア 生活道路が安全で便利な道路だと感じている市民の割合	%	58.9	57.1	55.7	59.5	59.7	60
		イ 危ない場所があると感じている市民の割合	%	74.1	70.4	70.8	73.5	73.3	73

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
5年前に比較し、道路予算が削減され新規改良事業が縮小し、台帳整備件数、延長とも減少している。一方、台帳整備業務委託予算も削減され、台帳整備が次年度以降に先送りされる状況が生じている。	旧町ごとに道路台帳が存在するため、台帳の統一及び紙ベースから電算化を検討している。	県市町村課、雲南市財政課より、交付税算定のための数値集計の際、旧町単位で道路台帳様式が異なっており、様式の統一が求められている。この道路台帳様式の統一に併せGIS導入が課題とされている。

事務事業名	道路台帳の整備事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 法律に基づき道路台帳整備事業を実施する。市道管理に重要なものであり、資料として利用者の安全快適な道路網の利用に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 法律上定められた道路台帳整備である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象及び意図は最大である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 旧町村ごとに異なる道路台帳様式を統一することにより、統一後の成果の向上と業務委託経費の縮減が見込まれる。また、将来、雲南市の統合型GISを導入する際、GISシステムとの連携をとり、道路台帳図面管
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 廃止した場合「市道管理の基となる台帳が未整備となる。」「交付税算定根拠を失う。」との影響が生じる。また、市道の管理上、法律上の定めからも廃止できない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 統合、連携できる類似事業はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 旧町村ごとに異なる道路台帳様式を統一すること、また、統合型GISを導入する際、GISシステムとの連携をとり、委託業務費削減や業務量軽減を目指す。この結果、台帳整備業務の事務量削減が見込まれる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 旧町村ごとに異なる道路台帳様式を統一すること、また、統合型GISを導入する際、GISシステムとの連携をとり、委託業務費削減や業務量軽減を目指す。この結果、台帳整備業務の事務量削減が見込まれる。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 法律に沿って作業対象路線を選び、入札を通じ、業務委託を図っている。受益者も不特定の道路利用者であり公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	旧町村ごとに異なる道路台帳様式を統一すること、また、統合型GISを導入する際、GISシステムとの連携をとり、委託業務費削減や業務量軽減を目指す。この結果、台帳整備業務の事務量削減が見込まれる。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	●																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
平成22年5月24日のヒアリングにおいて行革担当より、GIS導入は、各部局ごとの「単独導入可」の方向が示された。よって、建設部単独のGIS導入が急がれる。その場合、建設部単独導入に要する予算経費の確保が条件となる。																									